



ベアーズだより No.2



2024. 6. 1

戸外で虫探しや草花摘みなど、興味ある遊びを見つけて遊ぶ日吉津ベアーズの子どもたち。これから、梅雨に入り室内で過ごすことが増えてくると思いますが、雨の止み間を見つけて園庭や散歩に出かけ、この時期ならではの自然に触れて過ごせるようにしていきたいと思ひます。また、体調を崩しやすくなる時期ですので、水分補給や休息を取りながら、元気に過ごせるようにしていきたいと思ひます。



《子どものようす》

ひよこぐみ(0歳児)

園の生活リズムに慣れてきて、名前を呼ばれると笑顔で応えたり、一人でお座りや腹這いの姿勢になり、様々な玩具に触れて遊んだりする姿が見られるようになってきました。また、音楽が聞こえてくると耳を澄まして音楽を聴いたり、体を揺らしたりして楽しむ姿も見られるようになってきました。



いすぐみ(1歳児)

保育者や友だちに関心が増えてきて、自分から関わって遊ぼうとする姿が見られるようになってきました。園庭の近くを貨物列車や大型トラックが通ると、指差ししながら見つめたり、手を振ったりする子どもたちです。また、給食の準備が始まると、手洗いに行こうとしたり、給食を配ってもらおうと手づかみやスプーンで意欲的に食べたりする姿が見られます。



うさぎぐみ(2歳児)

園庭や散歩に行くと草花や生きものに興味を持ち、友だちと一緒に見たり、保育者に名前を聞いたりして、自然に触れて遊ぶ子どもたちです。「てんとう虫がいたよ」「このお花かわいいね」と保育者に伝える姿がありました。

また、タンポポの綿毛を見つけると息を吹きかけ、綿毛が飛んでいく様子を見つめる姿もありました。



今月の活動

- 梅雨に入ると室内遊びが増えてきますので、粘土やお絵描きなど、手先を使った遊びも取り入れていきたいと思ひます。
- 天候の良い日は戸外に出かけ、身近な生きものや草花に触れていきたいと思ひます。

